宮崎県内経済情勢報告

令和８年 11 月

財務省九州財務局宮崎財務事務所

〒880-0805 宮崎市橘通東 3-1-22 TEL：0985-22-7101（担当：財務課）

https://lfb.mof.go.jp/kyusyu/miyazaki/index.html

この資料は当所ウェブサイトに掲載しています。
九州財務局宮崎財務事務所
公式ウェブサイト

九州財務局
公式 X（旧 Twitter）

九州財務局
公式 Facebook

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、令和８年熊本地震による影響が一時的にみられたものの、緩やかに回復しつつある」

項　目	前回（8 年 7 月判断）	今回（8 年 10 月判断）	前回比較
総括判断	令和 8 年熊本地震前は、緩やかに回復しつつあったが、現時点では、まずは地震による地域への影響全体について十分に把握する必要がある	**令和 8 年熊本地震による影響が一時的にみられたものの、緩やかに回復しつつある**	⇨

（注）基調比較は、前回８年７月経済情勢報告における令和８年熊本地震発生前の状況と、令和８年熊本地震発生後から足下の状況までを含めた期間での判断との比較を行っている。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、弱含んでいる。雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。

【各項目の判断】（注）基調比較は、前回８年７月経済情勢報告における令和８年熊本地震発生前の状況と、令和８年熊本地震発生後から足下の状況までを含めた期間での判断との比較を行っている。

項　目	前回（8 年 7 月判断）	今回（8 年 10 月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	**緩やかに回復しつつある**	⇨
生産活動	弱含んでいる	**弱含んでいる**	⇨
雇用情勢	改善に向けた動きに一服感がみられる	**緩やかに持ち直しつつある**	↗
設備投資	8 年度は増加見込み	**8 年度は増加見込み**	⇨
企業収益	8 年度は減益見込み	**8 年度は減益見込み**	⇨
住宅建設	前年を下回っている	**前年を下回っている**	⇨

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、回復していくことが期待される。ただし、中東情勢のほか、物価動向、金融資本市場の変動などの影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

百貨店・スーパー販売は、一進一退の状況にある。コンビニエンスストア販売は、堅調に推移している。ドラッグストア販売は、堅調に推移している。家電大型専門店販売は、緩やかに回復しつつある。ホームセンター販売は、緩やかに持ち直しつつある。乗用車新車登録・届出台数は、持ち直しつつある。レジャー・観光施設の入場者数及び宿泊者数は、地震による影響が一時的にみられたものの、緩やかに回復している。

（主なヒアリング結果）

- 催事は好調であったものの、天候不順の影響で、夏物衣料などの売上げが伸び悩んだ。（百貨店・スーパー）
- 今夏は気温の上昇を背景に、冷たい飲料やアイスなどの季節商品の売上げが増加した。（コンビニエンスストア）
- 日焼け止めなどのUV対策商品に動きがみられた。（ドラッグストア）
- 2027年度からの省エネ基準の見直しに伴い、エアコンの販売は好調であった。足下では、販売の勢いは落ち着きつつあるものの、引き続き一定の需要がみられる。（家電大型専門店）
- 地震の影響から、防災関連用品の需要が高まった。（ホームセンター）
- 中東情勢の影響による部品調達の遅れなどから、新規登録台数の減少がみられるものの、新型車投入効果もあり販売は好調である。（自動車業界団体）
- 地震発生後、一時的に入場者数が減少したものの、お盆期間やシルバーウィークは多くの観光客が訪れた。（レジャー・観光施設）
- 地震によりキャンセルが一時的にみられたものの、夏休みやシルバーウィークの旅行需要に加え、国や県などの観光支援策を利用した宿泊が増加している。（宿泊業界団体）
- 地震によりキャンセルが発生したものの、発災直後の4日間のみであり影響は最小限にとどまった。引き続き、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けたリハーサル大会開催に伴う利用が多くみられている。（宿泊施設）

■ 生産活動 「弱含んでいる」

食料品工業、その他工業が横ばいの状況のなか、電子部品・デバイス工業が海外需要の減少などの影響がみられ、弱い動きとなっており、全体として弱含んでいる。

（主なヒアリング結果）

- 物価上昇に伴う内食需要の継続やインバウンド向け外食需要から、鶏肉の生産は堅調に推移している。（食料品）
- 必要在庫が確保できたことから、一時的に生産量を減らしたものの、年末需要に向けて増産を見込んでいる。（食料品）
- 中東方面への輸送環境の改善により、海外向けの生産が増加していることから、工場稼働率は持ち直しつつある。（その他）
- 一部に増産の兆しはあるものの、海外需要の回復遅れから、依然として工場の稼働水準は低いままとなっている。（電子部品・デバイス）

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直しつつある」

有効求人倍率は横ばいとなっているものの、新規求人数は増加に転じており、求人が求職を上回る状況が続いている。なお、企業の人手不足感は、高い状況が続いている。

（主なヒアリング結果）

- 新規求人数が増加に転じるなど、有効求人倍率の低下傾向に落ち着きがみられていることなどから、現状の雇用失業情勢について、悪化しているという状況にはないとみている。（公的機関）
- 増産を見込んでいるものの、必要な人員が確保できず、現在の人員での生産対応が難しくなりつつある。（はん用機械）
- ドライバー不足により、顧客の要請に応じることができず、仕事を断ることもある。（陸運）

■ 設備投資　「8 年度は増加見込み」（全産業）「法人企業景気予測調査」8 年 7-9 月期

○　製造業では増加見込み、非製造業では減少見込みとなっている。

■ 企業収益　「8 年度は減益見込み」（全産業）「法人企業景気予測調査」8 年 7-9 月期

○　製造業、非製造業ともに減益見込みとなっている。

■ 住宅建設　「前年を下回っている」

○　新設住宅着工戸数（8 年 6-8 月）でみると、前年を下回っている。

■ 企業の景況感　「『下降』超となっている」（全産業）「法人企業景気予測調査」8 年 7-9 月期

○　8 年 7-9 月期の景況判断 BSI をみると、全産業では「下降」超となっている。
　　先行き（全産業）をみると、8 年 10-12 月期は「上昇」超の見通しとなっている。

■ 公共事業　「前年度を上回っている」

○　公共工事前払金保証統計の請負金額（8 年 4-9 月累計）でみると、前年度を上回っている。

■ 倒産　「件数、負債総額ともに前年を上回っている」

○　企業倒産（8 年 7-9 月期）は、件数、負債総額ともに前年を上回っている。

参 考 資 料

1. 個人消費・・・・・・・・・・・・・・・・・・参-1

2. 生産活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・参-4

3. 雇用情勢・・・・・・・・・・・・・・・・・・参-5

4. 設備投資・・・・・・・・・・・・・・・・・・参-6

5. 企業収益・・・・・・・・・・・・・・・・・・参-6

6. 住宅建設・・・・・・・・・・・・・・・・・・参-7

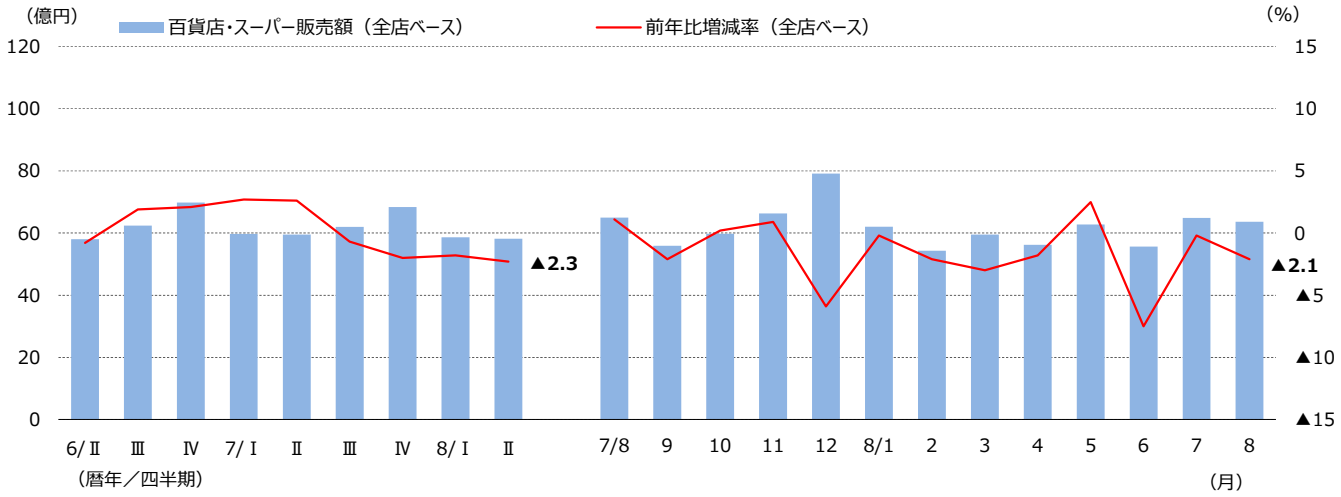
7. 企業の景況感・・・・・・・・・・・・・・・・参-8

8. 公共事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・参-9

9. 倒産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・参-10

1. 個人消費

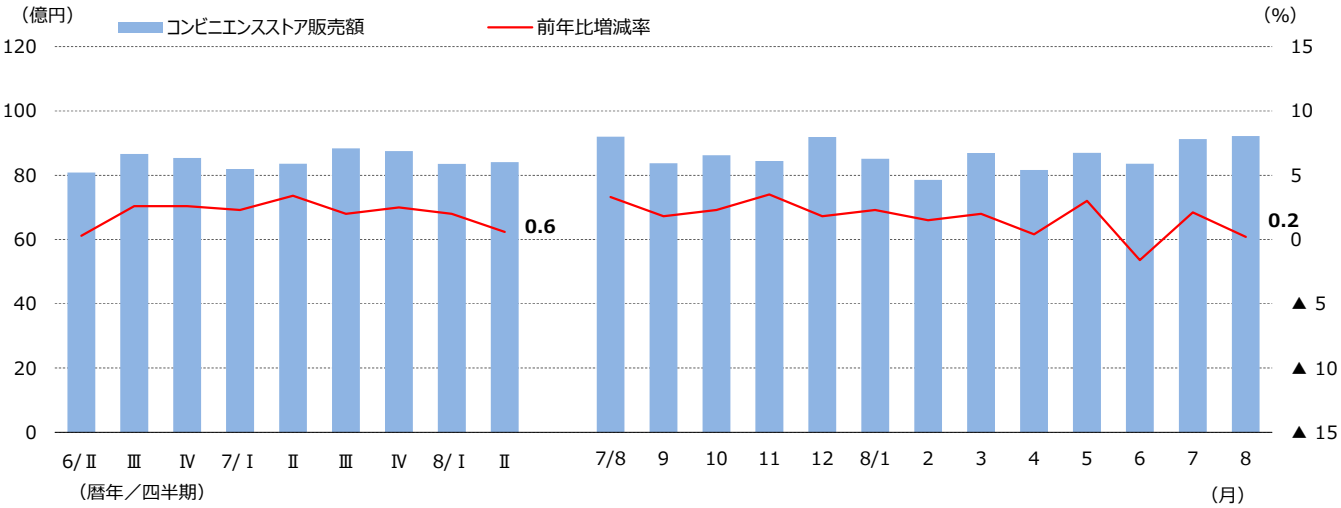
図表1　県内の百貨店･スーパー販売額の推移



（注）四半期の棒グラフは月平均。

［資料：経済産業省］

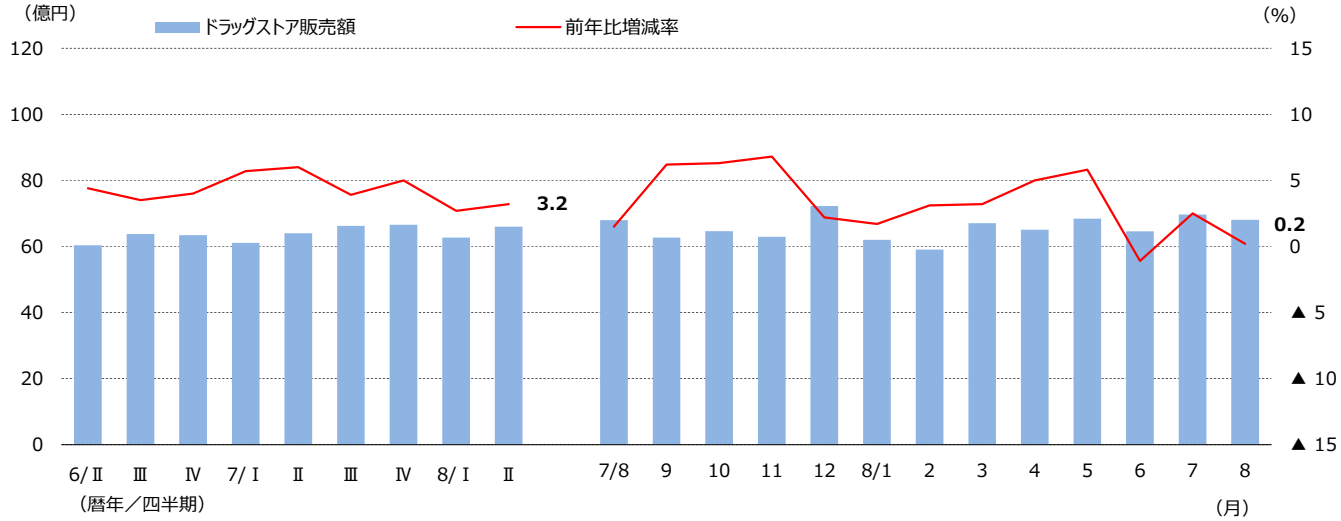
図表2　県内のコンビニエンスストア販売額の推移



（注）四半期の棒グラフは月平均。

［資料：経済産業省］

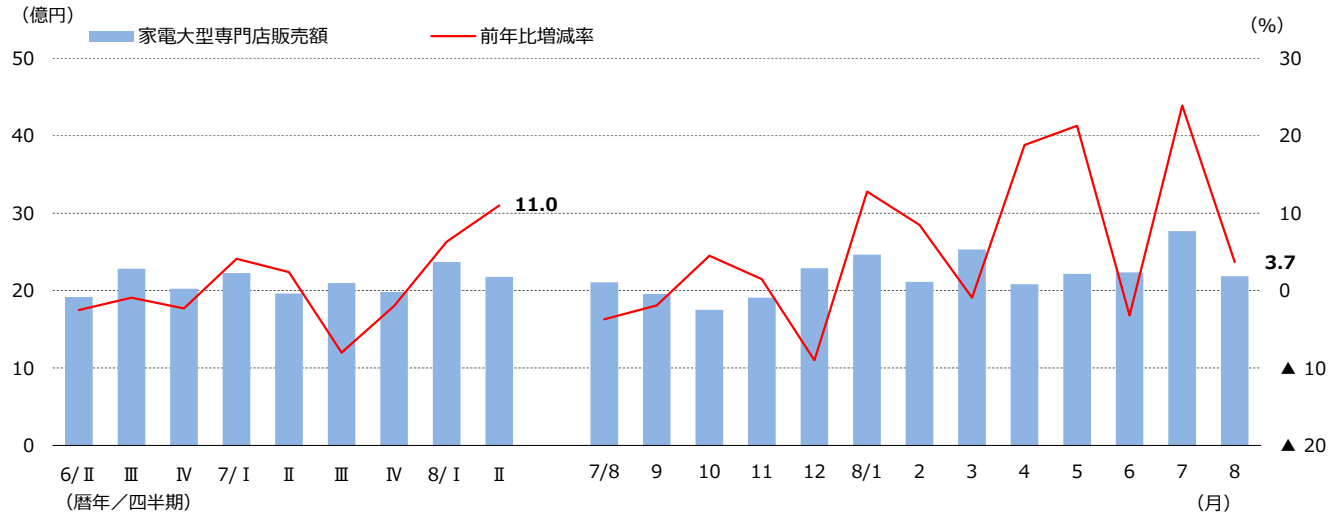
図表3　県内のドラッグストア販売額の推移



（注）四半期の棒グラフは月平均。

［資料：経済産業省］

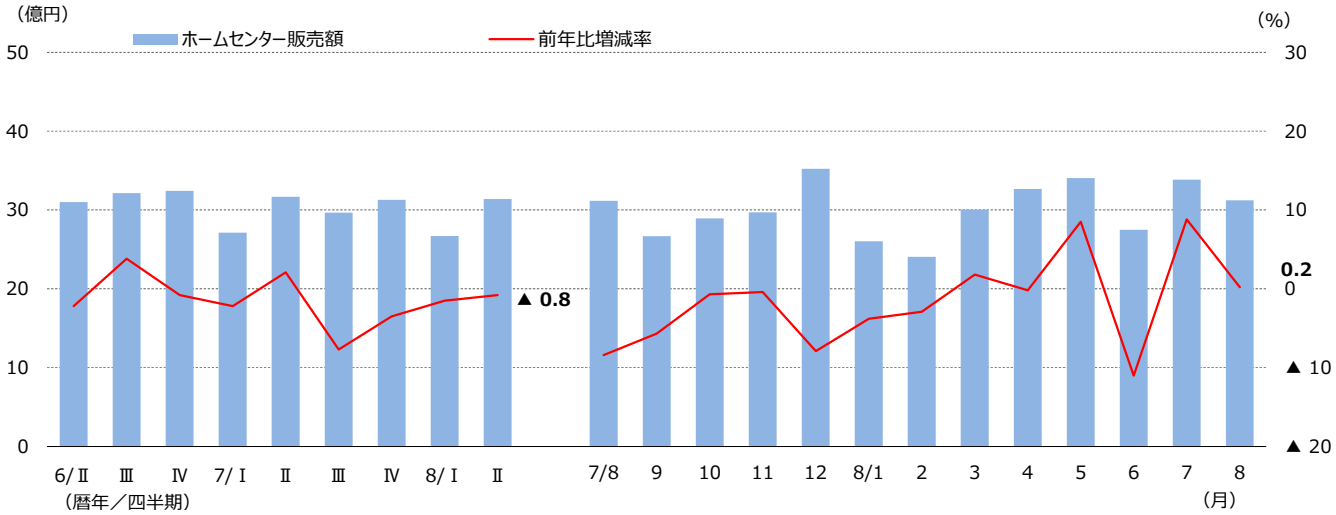
図表4　県内の家電大型専門店販売額の推移



（注）四半期の棒グラフは月平均。

［資料：経済産業省］

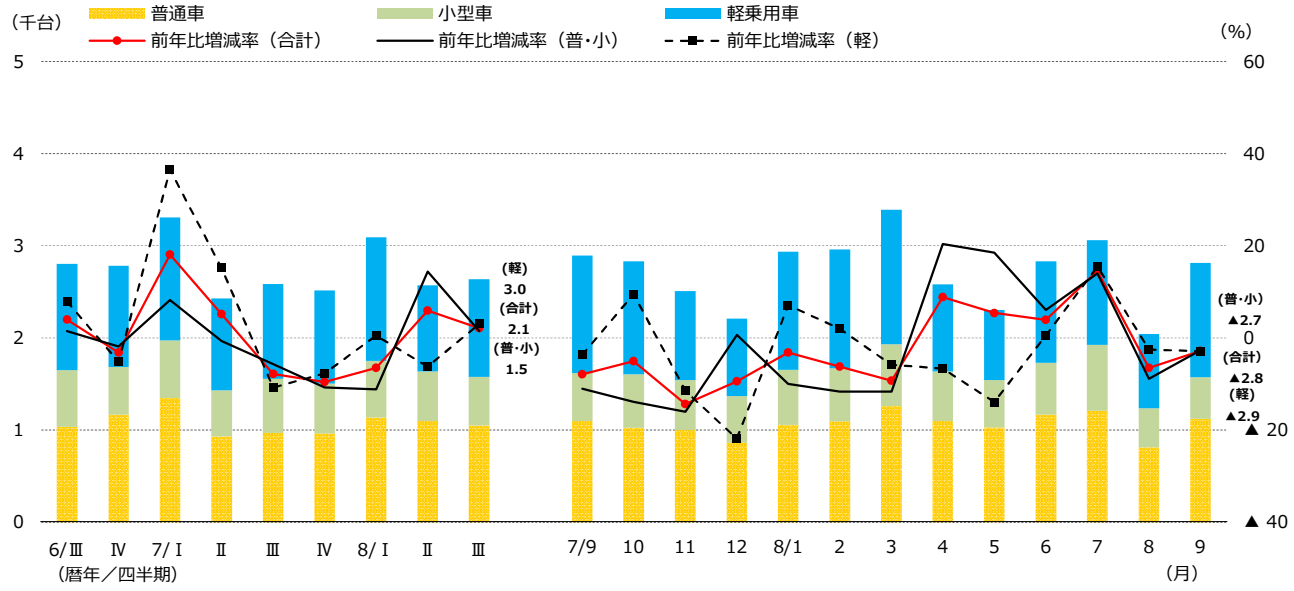
図表5　県内のホームセンター販売額の推移



（注）四半期の棒グラフは月平均。

［資料：経済産業省］

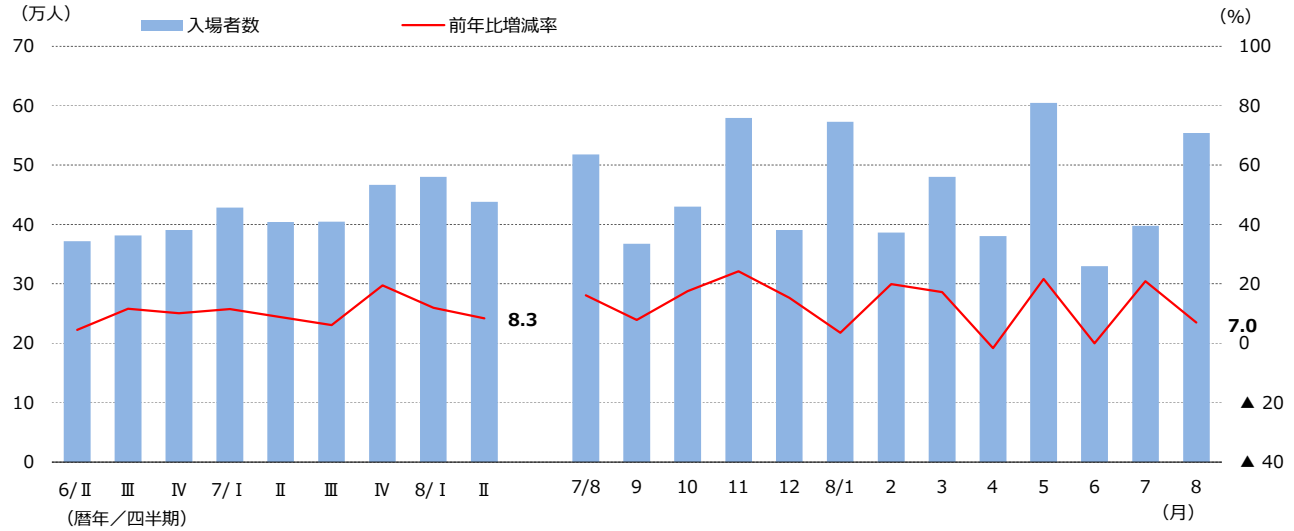
図表6　県内の乗用車新車登録･届出台数の推移



（注）四半期の棒グラフは月平均。

［資料：日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会］

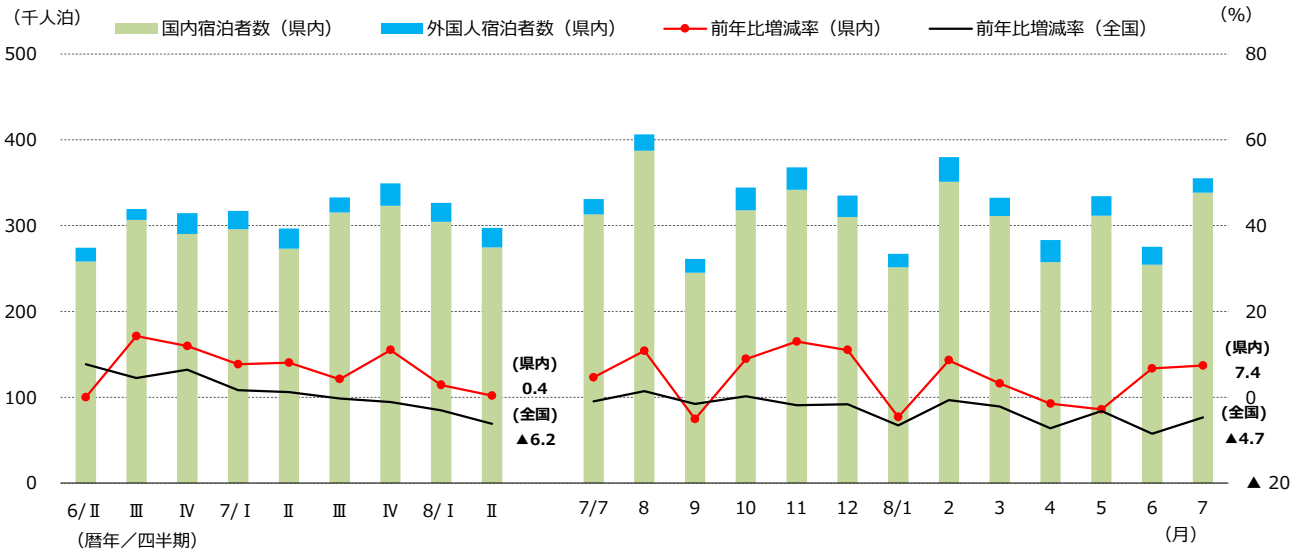
図表7　県内の主要レジャー･観光施設（12ヵ所）入場者数の推移



（注）四半期の棒グラフは月平均。

［資料：県内主要レジャー･観光施設］

図表8　県内の宿泊者数（延べ）の推移

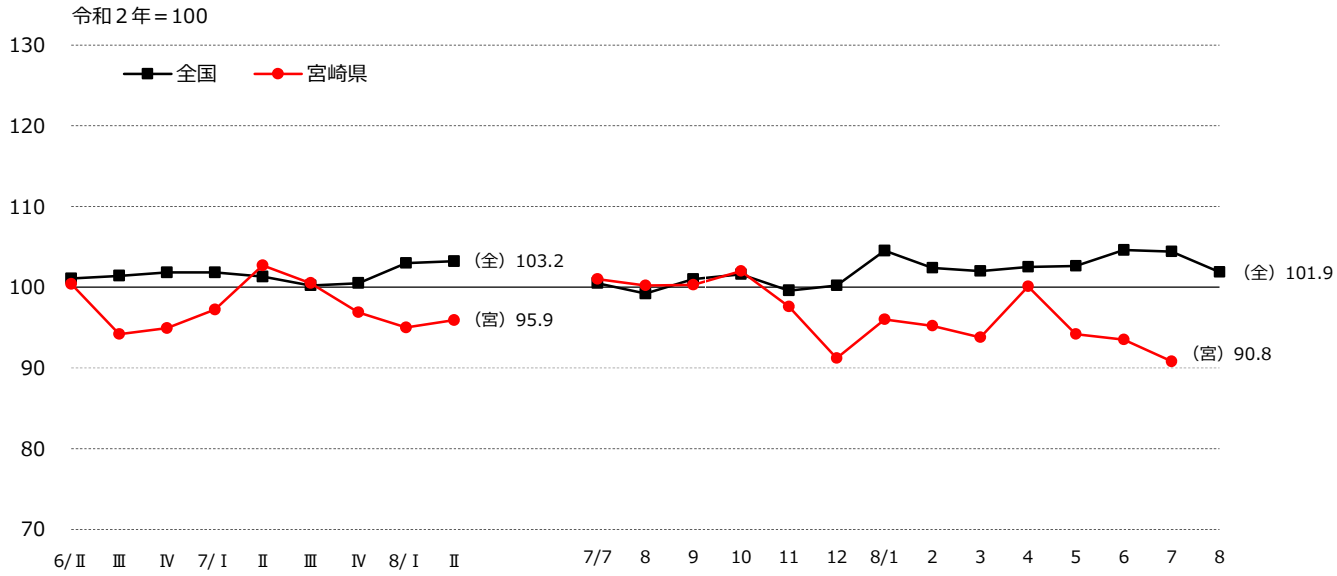


（注）四半期の棒グラフは月平均。
「前年比増減率」は国内及び外国人宿泊者全体の増減率。

［資料：観光庁］

2. 生産活動

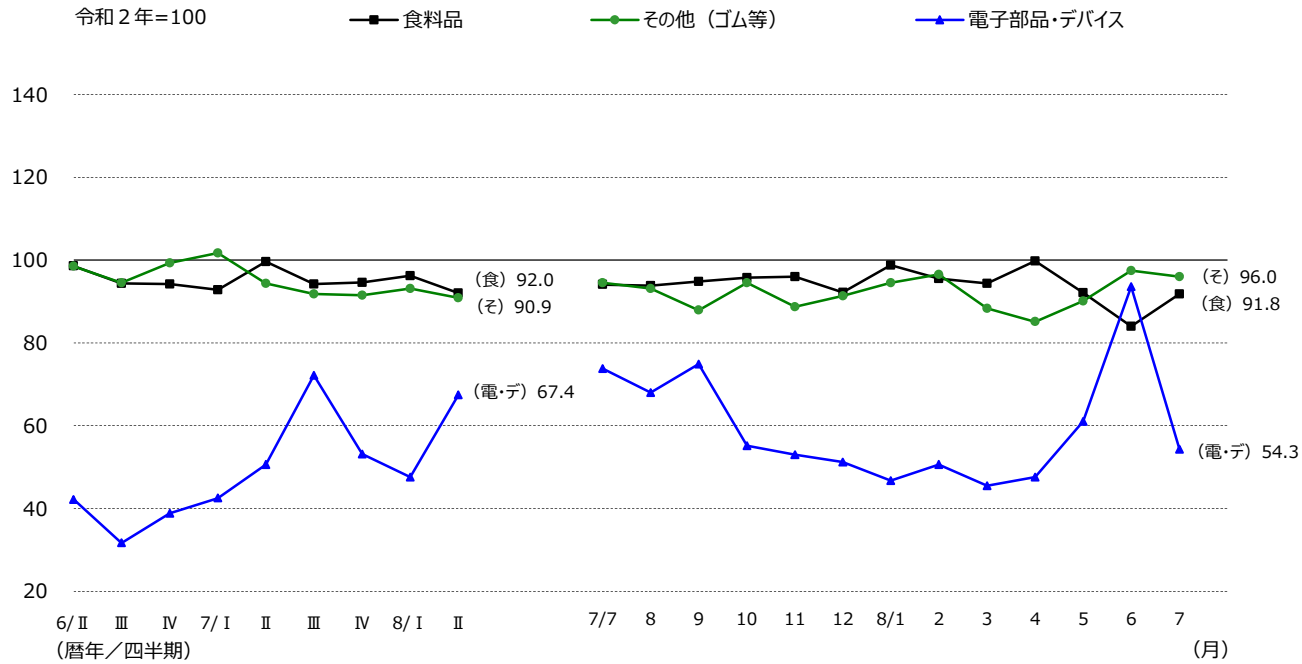
図表9 鉱工業生産指数（季節調整済）の推移



（注）宮崎県の8年7月は速報値。

［資料：経済産業省、宮崎県］

図表10 鉱工業生産指数（季節調整済･業種別）の推移

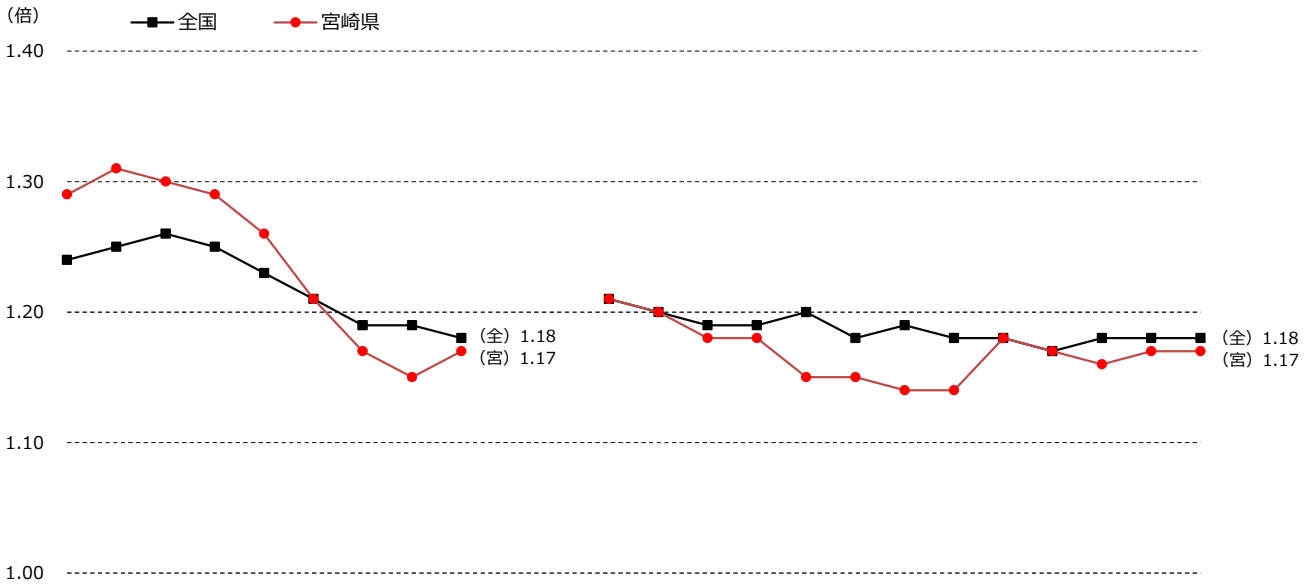


（注）8年7月は速報値。

［資料：宮崎県］

3. 雇用情勢

図表11　有効求人倍率の推移

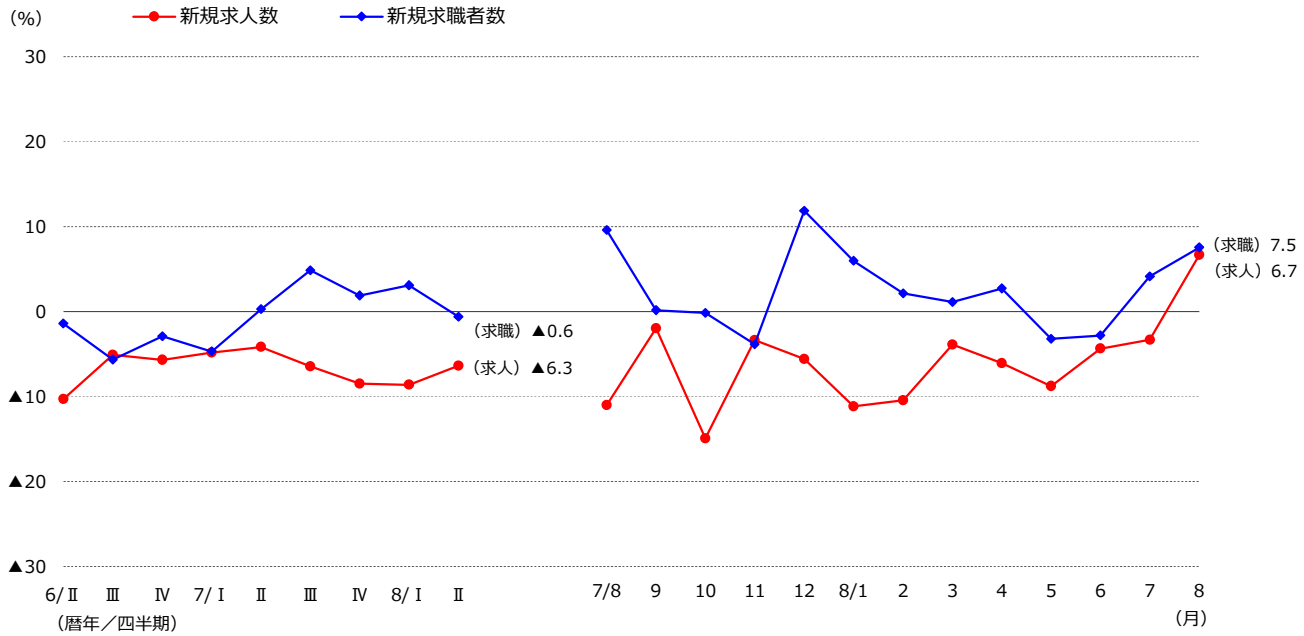


（暦年／四半期）

（注）季節調整値、パートを含む。

［資料：厚生労働省］

図表12　県内の新規求人数、新規求職者数（前年比増減率）の推移



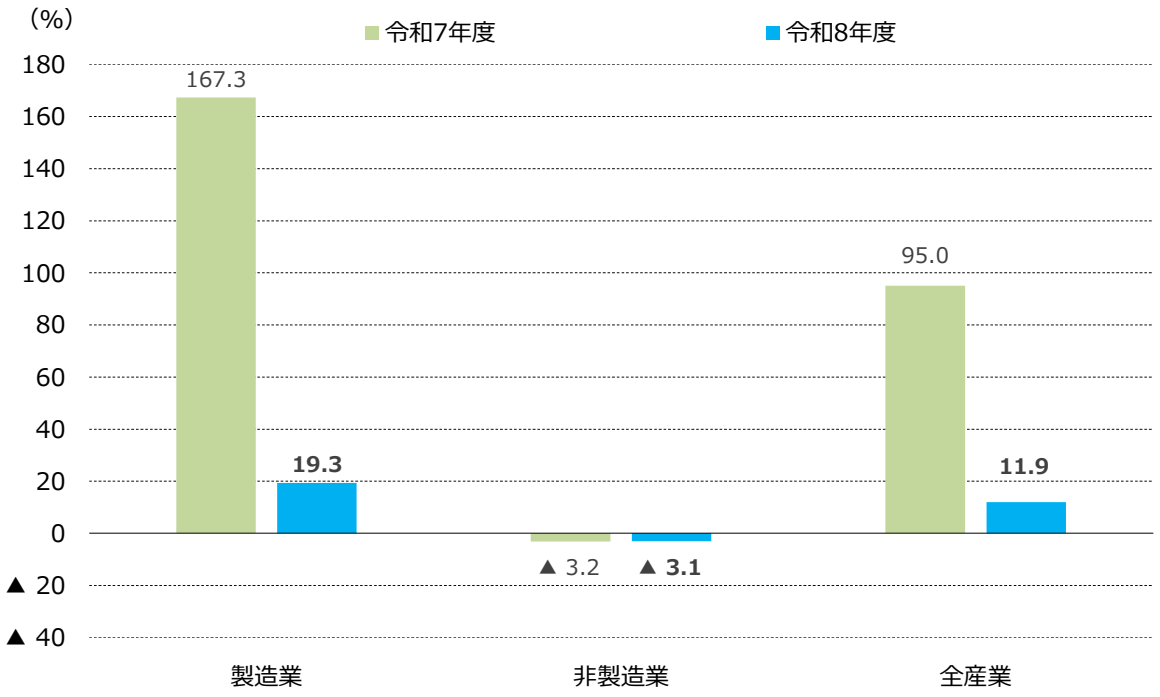
（暦年／四半期）

（注）原数値、パートを含む。

［資料：厚生労働省］

4. 設備投資

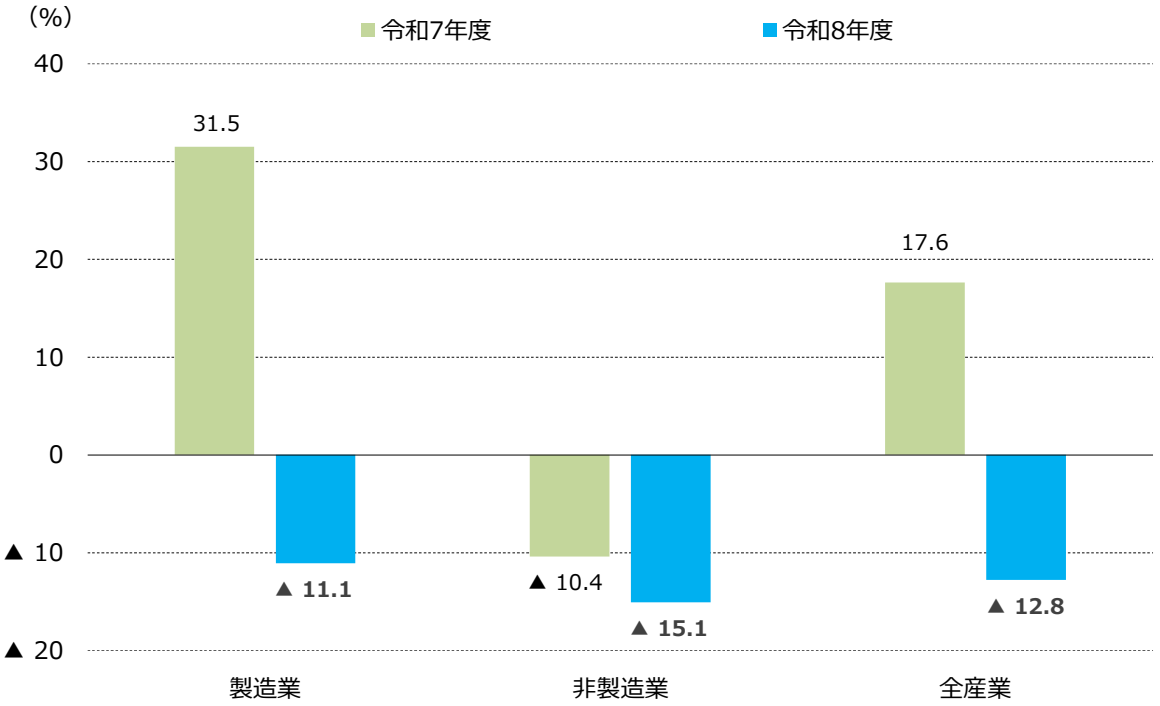
図表13 設備投資（前年度比増減率）



[資料：宮崎財務事務所 法人企業景気予測調査]

5. 企業収益

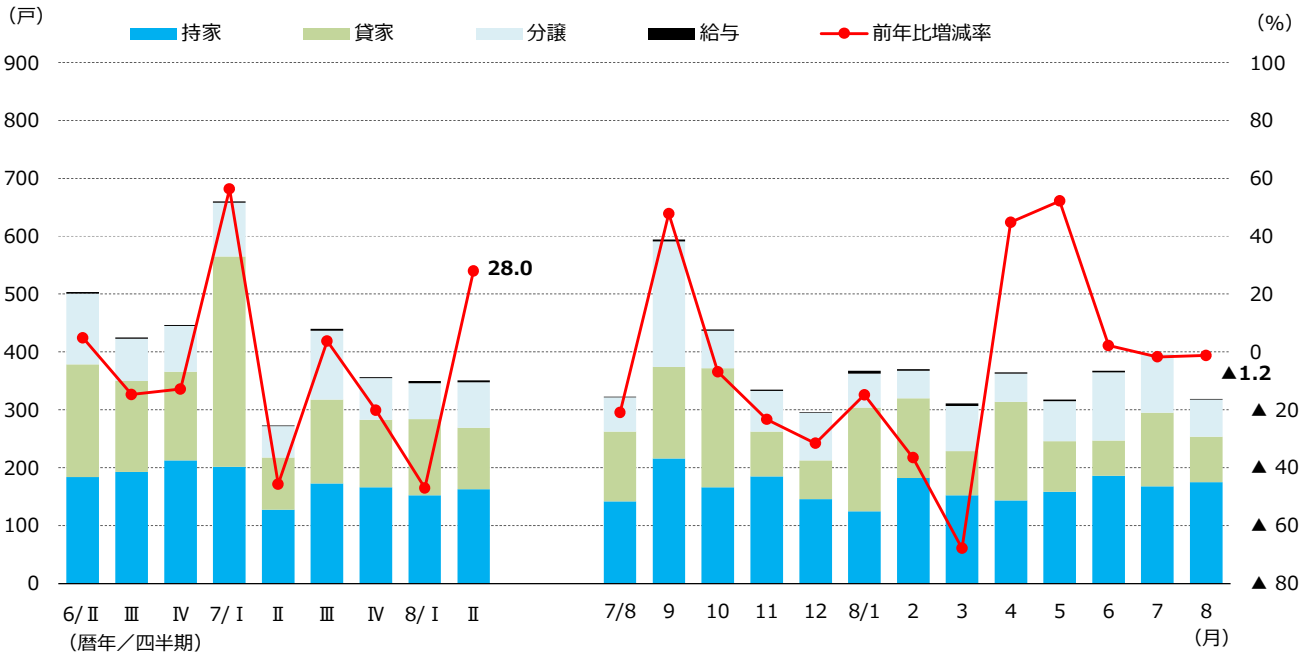
図表14 経常利益（前年度比増減率）



[資料：宮崎財務事務所 法人企業景気予測調査]

6. 住宅建設

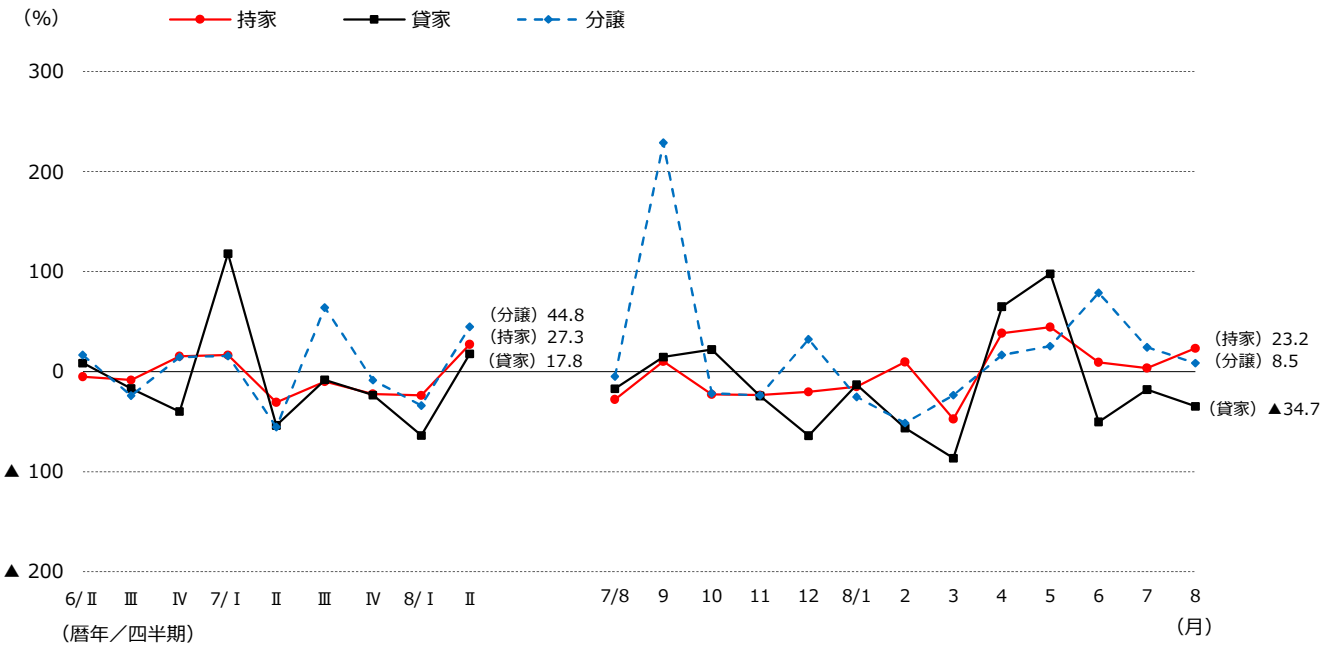
図表15　県内新設住宅着工戸数の推移



（注）四半期の棒グラフは月平均。

［資料：国土交通省］

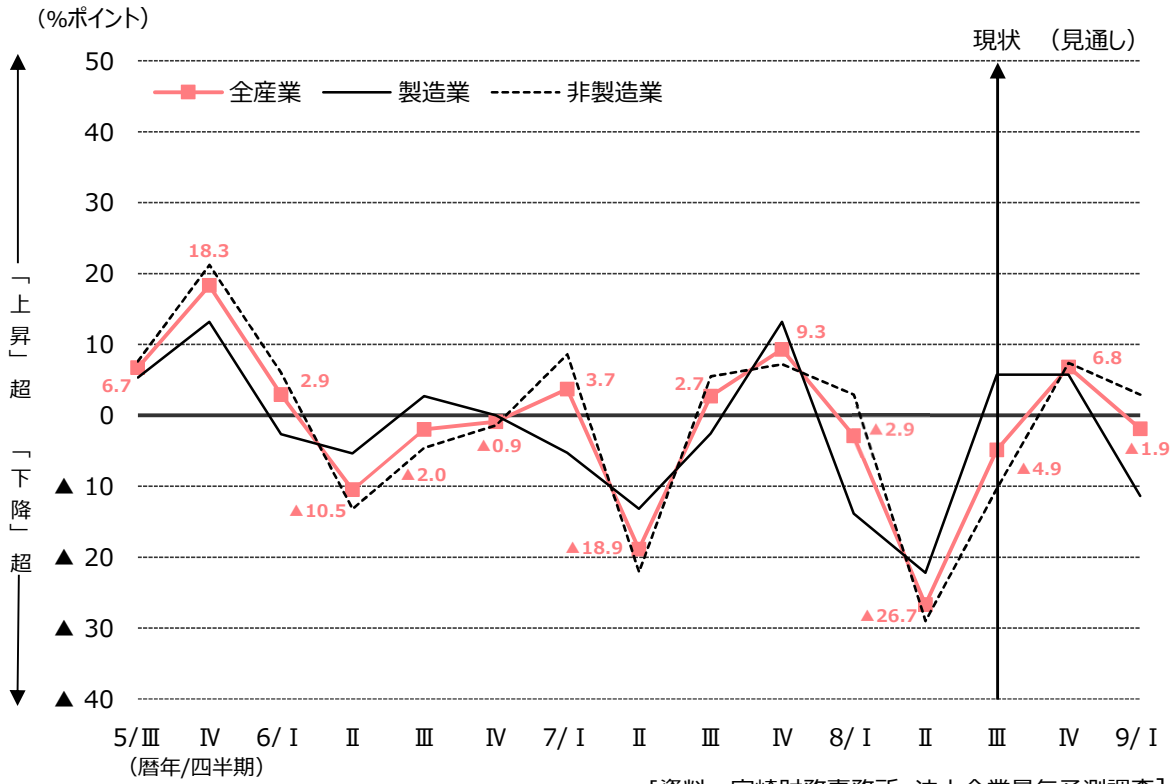
図表16　利用関係別県内新設住宅着工戸数（前年比増減率）の推移



［資料：国土交通省］

7. 企業の景況感

図表17　業種別景況判断BSI（原数値）

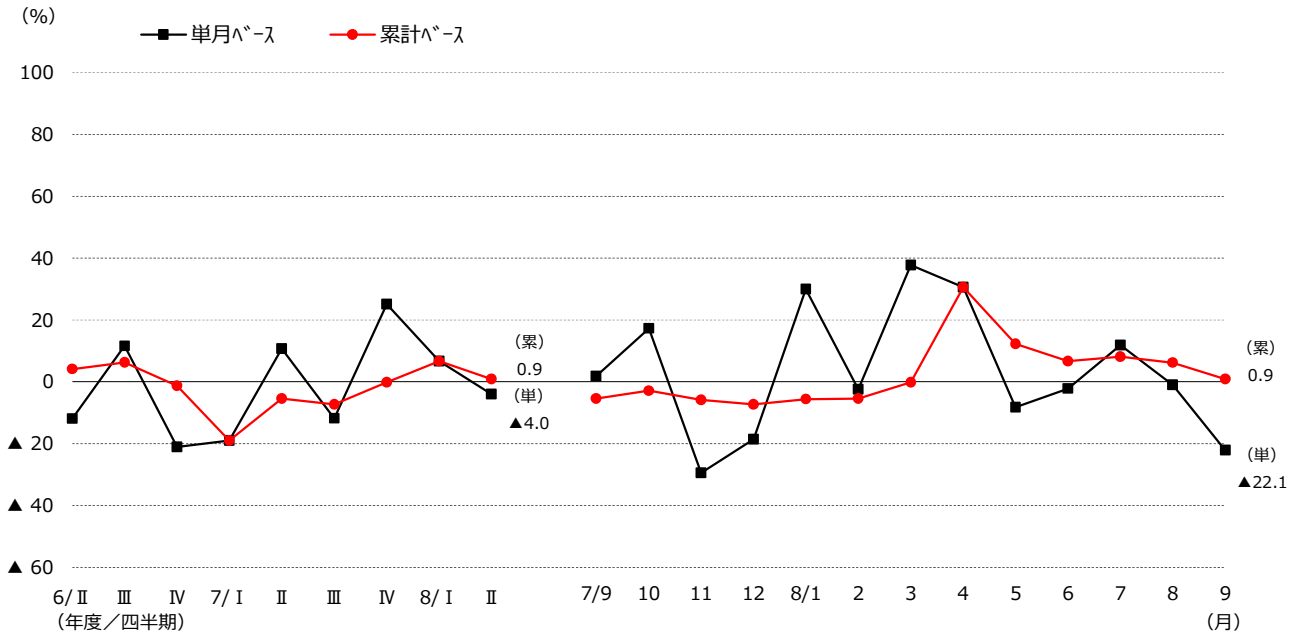


（注）グラフの数値は全産業のＢＳＩを表記している。

[資料：宮崎財務事務所　法人企業景気予測調査]

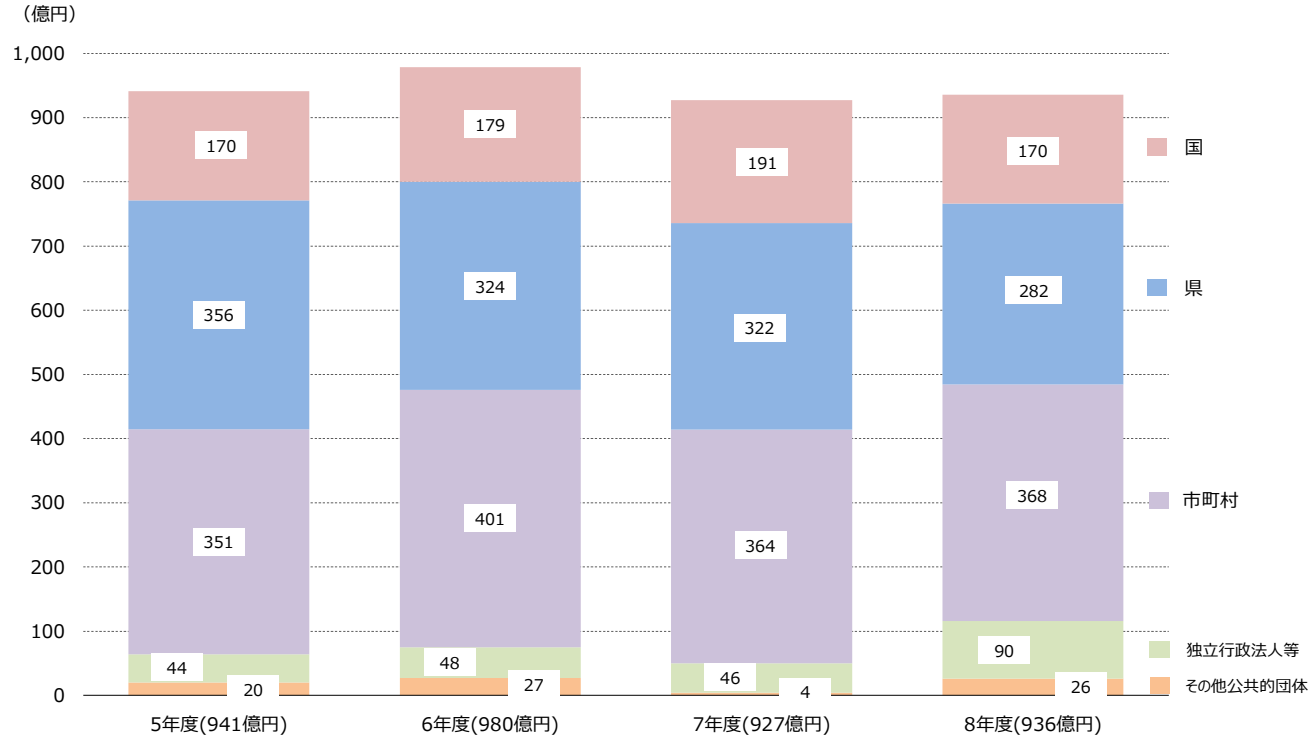
8. 公共事業

図表18　県内公共工事請負金額（前年度比増減率）の推移



［資料：西日本建設業保証株式会社ほか］

図表19　発注者別県内公共工事請負金額（9月末累計）

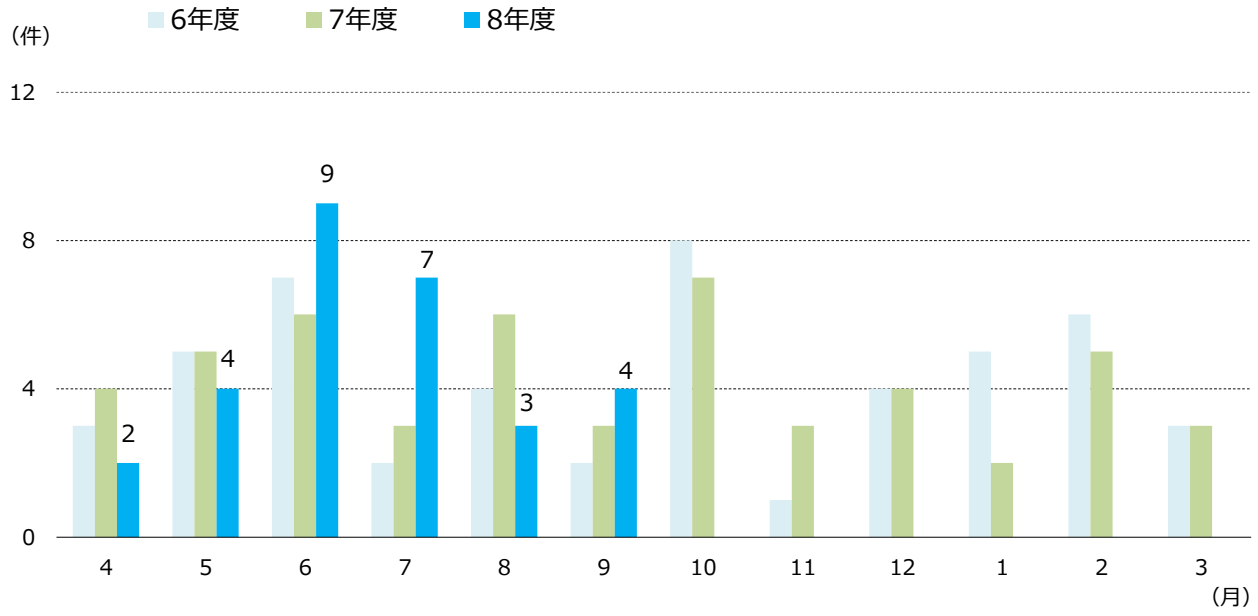


（注）端数処理（四捨五入）の関係で、合計金額が一致しないことがある。

［資料：西日本建設業保証株式会社ほか］

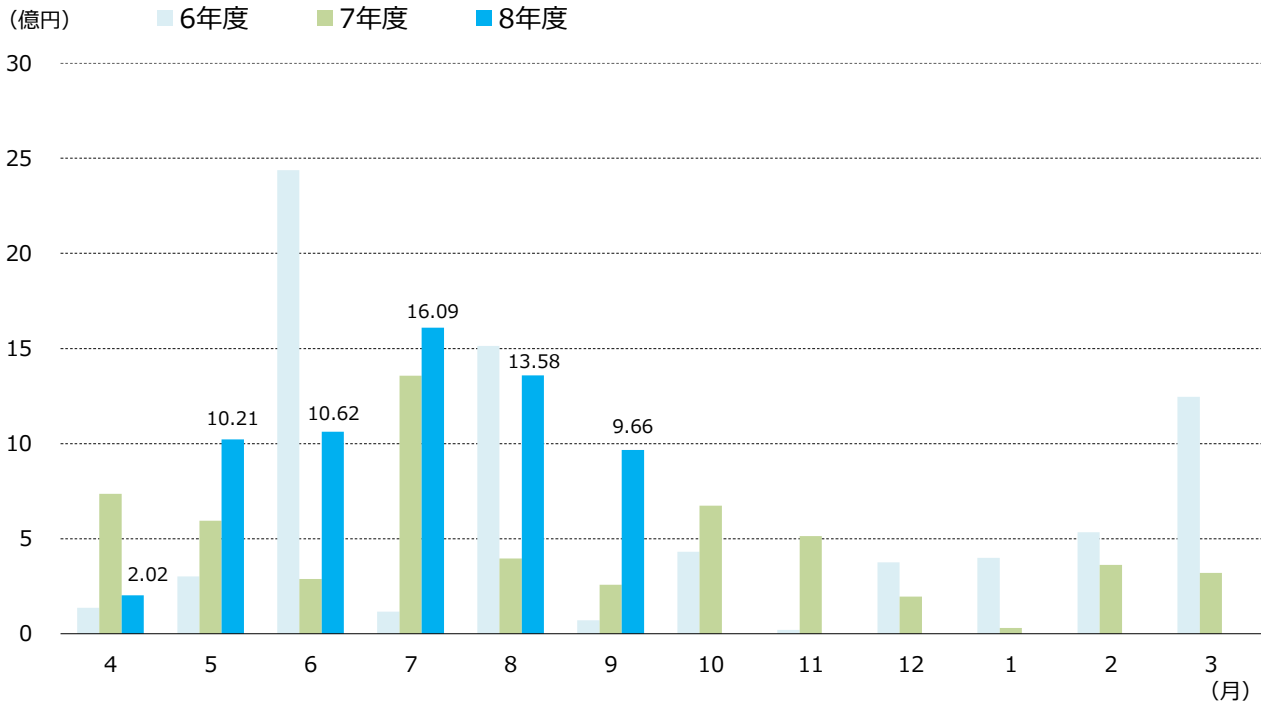
9. 倒　産

図表20　企業倒産状況（件数）



［資料：東京商工リサーチ］

図表21　企業倒産状況（負債総額）



［資料：東京商工リサーチ］